令和8年度　全国学力・学習状況調査の結果

京都市立京都御池中学校

4月23日に本校9年生の231名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・数学・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・英語）

国語・数学・英語ともに、平均正答率は全国および京都府の平均を上回っています。また、3教科ともに各領域においてよく取り組めています。無答率も大変低く、難しい問題に対しても最後まで粘り強く考えて取り組む姿勢がうかがえました。

国語科より

京都府及び全国の平均正答率よりも上回る結果となり、全体的によくできているのが分かります。

特に、「話すこと・聞くこと」領域によく取り組めていました。「目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題」の問題番号2（一）では高い正答率でした。

一方で、記述式の問題では正答率が低く、自分の考えを文章で表現することに課題が見られます。考えを相手に分かりやすく伝えるためには、さまざまな言葉に触れ、語彙を豊かにすることが大切です。日頃から読書に親しんだり、ニュースや身近な出来事について自分の言葉でまとめたりするなど、意識して言葉を使う機会を増やしていきましょう。

・読書をしよう
・ニュースを自分の言葉でまとめよう



数学科より

全体的な平均正答率は、京都府および全国の平均正答率を上回っています。「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の各領域のうち、特に「数と式」では、京都府および全国平均との差が比較的小さい結果でした。今後も日頃から計算練習に取り組むとともに、ケアレスミスを減らすことを意識して学習を進めていきましょう。

「知識・技能」「思考・判断・表現」のうち、特に「知識・技能」では、京都府および全国平均との差が比較的小さい結果でした。中でも、箱ひげ図からデータを読み取る問題の正答率が低く見られました。計算力を身に付けるだけでなく、数学用語や言葉の定義についても正確に理解しておくことが大切です。

・計算は正確にしよう
・言葉の定義を復習しよう



英語科より

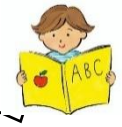
京都府及び全国の平均正答率よりも上回る結果となり、全体的によくできているのが分かります。

特に、「聞くこと」領域によく取り組めていました。「日常的な話題について自分の置かれた状況などから判断し、必要な情報を聞き取ることができる問題」の問題番号3では高い正答率でした。

一方で、「書くこと」の正答率は低い傾向にあり、課題が見られます。特に社会的な話題について、短い文を読み要点を捉え、考えとその理由を書けるようにしましょう。要点を捉えるために、長文の読み方や単語の意味を理解することが重要です。そのために、進んで多読をしたり、新出単語を定着できるように復習したりしましょう。

また、「話すこと」の領域においては、全国の平均正答率を上回る結果となり、全体的に良く出来ていました。電話でのやりとりや日常生活の話題について自分の考えを整理し、伝えることができていました。一方で複雑な場面設定では、自分の意見を伝えることに苦手意識があるように見られました。そのため、多様な場面設定で自分の考えや意見を伝えられるように話す・発表する場面では積極的に自分の意見を発信していきましょう。

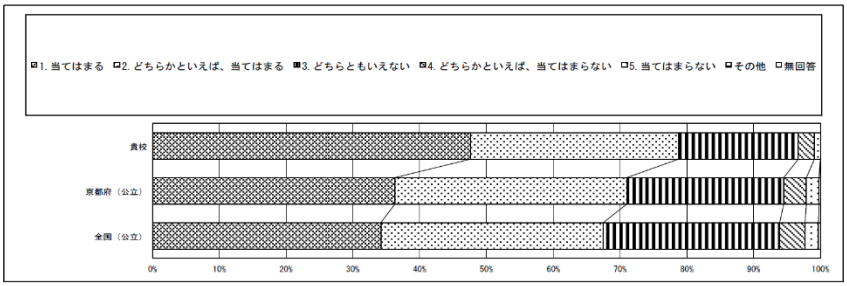
・多読し、語彙を増やそう



生徒質問紙調査より①

「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答結果が全国平均より10ポイント以上高い結果となりました。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という質問に対しても、「当てはまる」という回答結果が全国平均よりも高く、本校の生徒は、課題に対して、他の生徒の考えや意見を受け入れ、共に学習を進めることができていることがわかります。

質問番号	質問事項											
（20）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	47.6	31.1	17.9	2.4	0.9						0.0	0.0
京都府（公立）	36.3	34.7	23.5	3.4	1.9						0.0	0.2
全国（公立）	34.2	33.3	26.4	3.8	2.0						0.0	0.3

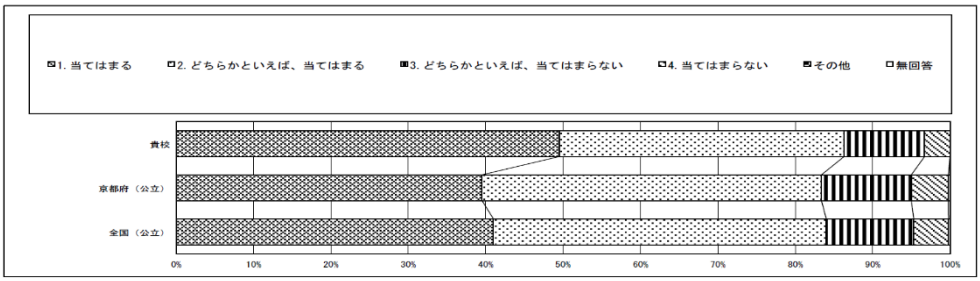




生徒質問紙調査より②

「自分にはよいところがあると思いますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまると答えた生徒が全国平均を上回っています。このことから、自分によいところを見つけ、さらに周りの役に立ちたいと考えている生徒が多いことが推察されます。

質問番号	質問事項											
（8）	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	49.5	36.8	10.4	3.3							0.0	0.0
京都府（公立）	39.5	43.8	11.6	4.8							0.0	0.2
全国（公立）	41.0	43.0	11.3	4.5							0.0	0.2



全体を通した本校の成果と課題

本校では、「自ら思考して行動すし、未来を創造することができる生徒の育成」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得ながら様々な取組を進めているところです。

本校の生徒は、OGGT 小中一貫教育プロジェクトで、3小学校と合同で9年間を通じて「読解力の育成」に取り組んでいます。共通の取組としては、「読解班」のグループでの活動を教科学習などに多く取り入れることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現につながっております。

しかしながら、以前からの課題である「学力の二極化」の解消に取り組んでいく必要があります。学習指導要領にもある「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して継続的に授業改善を行っているものの、成果は十分ではないと考えております。一人一人の学びの充実を図り、さらに「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。